MORITO



平成25年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月10日

上場会社名 モリト株式会社 上場取引所

大

コード番号

9837

URL http://www.morito.co.jp/

表

者 (役職名) 代表取締役社長 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理統轄本部長 (氏名) 一坪 隆紀

(氏名) 與田 邦男

(TEL) 06 (6252) 3551

四半期報告書提出予定日

平成25年7月12日

配当支払開始予定日

平成25年8月9日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無

: 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年11月期第2四半期の連結業績(平成24年12月1日~平成25年5月31日)

(1)連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上商	当	営業利	益	経常利	l益	四半期純	!利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年11月期第2四半期	15, 510	△2.5	599	△24.3	831	6. 4	504	9. 7
24年11月期第2四半期	15, 910	5. 3	792	8. 5	780	23. 3	460	36. 5
(注) 与托利米 05年11日期	55 0 m 1/ #0	1 000=	Tm / 11F C	V) 04/±1	10 #055 0 00 \$	1/ #0	070 = = = m /	CO 70()

(注) 包括利益 25年11月期第2四半期 1,882百万円(115.6%) 24年11月期第2四半期 873百万円(62.7%)

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年11月期第2四半期	34. 83	_
24年11月期第2四半期	31. 60	_

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
25年11月期第2四半期	百万円 34, 543	百万円 26, 649	% 77. 1
24年11月期	32, 777		75. 9

(参考) 自己資本 25年11月期第2四半期 26,649百万円

24年11月期 24,889百万円

2. 配当の状況

		年間配当金						
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円銭	円銭	円 銭	円 銭	円 銭			
24年11月期	_	8. 50	_	8. 50	17. 00			
25年11月期	_	9. 00						
25年11月期(予想)			_	9. 00	18. 00			

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 無

3. 平成25年11月期の連結業績予想 (平成24年12月1日~平成25年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益	益	経常利3	益	当期純利	益	1株当たり 当期純利益
通期	百万円 33,000	% 4. 7	百万円 1,600	% 15. 2	百万円 1,600	% 13. 9	百万円 900	% 14. 2	円 銭 62.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動:無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料の4ページの「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4)発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年11月期2Q	15, 400, 000株	24年11月期	15, 400, 000株
25年11月期2Q	913, 220株	24年11月期	914, 008株
25年11月期 2 Q	14, 486, 415株	24年11月期 2 Q	14, 556, 634株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続き は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(2)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

また、当社は、平成25年3月25日開催の取締役会において、従業員の新しい福利厚生サービスとして自社の株式を給付し、株価及び業績向上への従業員の意欲や士気を高めることを目的として、「株式給付信託(J-ESOP)」を導入することを決議いたしました。

この導入に伴い、平成25年4月30日付で資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)が当社株式196,000株を取得しております。信託E口が所有する当社株式については、自己株式に含めております。

〇添付資料の目次

1. ≝	四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1)	連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2)	連結業績予想に関する定性的情報	P. 3
2. サ	マリー情報(注記事項)に関する事項	P. 4
(1)	当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 4
(2)	四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 4
(3)	会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 4
(4)	追加情報 ·····	P. 4
3. 匹	3半期連結財務諸表 ·····	P. 5
(1)	四半期連結貸借対照表	P. 5
(2)	四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
	四半期連結損益計算書	P. 7
	四半期連結包括利益計算書	P. 8
(3)	四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 9
(4)	継続企業の前提に関する注記	P.11
(5)	セグメント情報等	P. 11
(6)	株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(平成24年12月1日~平成25年5月31日)におけるわが国経済は、政権交代に伴う新政権の金融緩和・財政政策への期待感から円安・株高が進展し、日本企業の経営環境改善の兆しが見られるようになりました。

また、世界経済では米国経済の住宅・雇用環境改善により回復基調にあるものの、欧州経済における 財政緊縮による停滞、中国・ブラジルをはじめとする新興国経済も輸出鈍化により減速する等、引き続き先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、主に副資材を扱う当社グループにおきましては、中期経営計画「グローバル成長企業を目指して」の取組みのもと、グローバルな販売網・生産拠点の拡充を着実に推進することで、事業規模拡大を要とした成長戦略を実行しております。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高155億1千万円(前年同期比2.5%減)、営業利益5億9千9百万円(前年同期比24.3%減)、経常利益8億3千1百万円(前年同期比6.4%増)、四半期純利益5億4百万円(前年同期比9.7%増)となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間における海外子会社の連結財務諸表作成にかかる為替レートは次のとおりです。

93.99円/米ドル、120.65円/ユーロ、15.14円/中国元、12.11円/香港ドル、3.15円/台湾ドル 0.0045円/ベトナムドン

また、前年同期の連結累計期間における為替レートは次のとおりです。

82.14円/米ドル、109.71円/ユーロ、13.05円/中国元、10.58円/香港ドル、2.78円/台湾ドルセグメントの業績は次のとおりであります。

(日本)

服飾資材関連では、ワーキングウエア業界の在庫調整により、引き続き販売が低調に推移しております。また、製品靴やスポーツウエア資材におきましても売上高が減少いたしました。

生活産業資材関連では、厳冬により流通小売関連の防寒系商品の売上高が、靴専門店・ホームセンター向けを中心に増加いたしました。しかし、中国問題及びエコカー補助金終了の反動等の影響を受けて、自動車内装品関連の売上高が減少いたしました。

また、コンパクトデジタルカメラ市場の縮小により、ケース等のアクセサリーグッズにおきましても 売上高が減少いたしました。

その結果、売上高は124億5百万円(前年同期比4.2%減)となりました。

(アジア)

服飾資材関連では、欧州・中国向けワーキングウエア資材の販売が回復傾向にあり、売上高が増加いたしましたが、ベビーウエア・スポーツウエア・カジュアルウエア資材の売上高が減少いたしました。

生活産業資材関連では、中国での日本製品不買運動の影響を受けて、中国向け自動車内装品関連、及びデジタルカメラのアクセサリーグッズの売上高が減少いたしました。

その結果、売上高は22億6千1百万円(前年同期比7.6%増)となりました。

(欧米)

服飾資材関連では、昨年好調だった欧州向け高級服飾資材の販売が減少いたしましたが、英国王室御 用達ブランド向け資材の販売が好調に推移いたしました。

生活産業資材関連では、第1四半期で好調だった米国向け自動車フロアマット部材・伸縮ネット等の 販売が在庫調整の影響を受けて減少いたしました。また、欧州向けデジタルカメラケースの売上高が引 き続き増加いたしました。

その結果、売上高は8億4千3百万円(前年同期比1.3%減)となりました。

(2) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年1月11日に公表いたしました平成25年11月期の連結業績予想につきましては現在のところ変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年12月 1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更して おります。

なお、これによる営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響額は軽微であります。

(4)追加情報

(株式給付信託 (J-ESOP) における会計処理方法)

当社は、平成25年3月25日開催の取締役会において、従業員の新しい福利厚生サービスとして自社の株式を給付し、株価及び業績向上への従業員の意欲や士気を高めることを目的として、「株式給付信託(J-ESOP)」を導入することを決議いたしました。

この導入に伴い、平成25年4月30日付で資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)が当 社株式196,000株を取得しております。

当該株式給付信託に関する会計処理については、経済的実態を重視する観点から、当社と信託 E口は一体であるとする会計処理をしており、信託E口が所有する当社株式や信託E口の資産及 び負債並びに費用及び収益については、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半 期連結キャッシュ・フロー計算書に含めて計上しております。

なお、平成25年5月31日現在において信託E口が所有する自己株式数は196,000株であります。

3. 四半期連結財務諸表 (1) 四半期連結貸借対照表

	前連結会計年度 (平成24年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6, 566, 776	6, 949, 304
受取手形及び売掛金	8, 879, 237	8, 729, 629
たな卸資産	3, 153, 391	3, 212, 989
その他	709, 453	831, 563
貸倒引当金	△39, 014	△34, 670
流動資産合計	19, 269, 844	19, 688, 816
固定資産		
有形固定資産		
土地	5, 973, 590	6, 124, 472
その他(純額)	2, 482, 710	2, 678, 730
有形固定資産合計	8, 456, 300	8, 803, 202
無形固定資產	284, 937	313, 431
投資その他の資産		
投資有価証券	3, 787, 721	4, 717, 086
その他	1, 105, 367	1, 117, 388
貸倒引当金	△126, 779	△96, 836
投資その他の資産合計	4, 766, 309	5, 737, 639
固定資産合計	13, 507, 547	14, 854, 272
資産合計	32, 777, 391	34, 543, 088
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3, 548, 364	3, 563, 628
短期借入金	350, 000	350,000
未払法人税等	356, 810	335, 271
賞与引当金	107, 103	99, 278
役員賞与引当金	30, 400	18, 610
その他	1, 091, 116	812, 897
流動負債合計	5, 483, 795	5, 179, 686
固定負債		
退職給付引当金	784, 458	768, 928
役員退職慰労引当金	157, 687	168, 787
その他	1, 462, 385	1, 776, 180
固定負債合計	2, 404, 531	2, 713, 896
負債合計	7, 888, 327	7, 893, 583

	前連結会計年度 (平成24年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3, 532, 492	3, 532, 492
資本剰余金	3, 386, 004	3, 386, 099
利益剰余金	19, 683, 405	20, 064, 825
自己株式	△672, 472	△671, 920
株主資本合計	25, 929, 429	26, 311, 495
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	624, 833	1, 259, 403
繰延ヘッジ損益	_	$\triangle 1,932$
土地再評価差額金	△714, 198	△714, 198
為替換算調整勘定	△950, 999	△205, 262
その他の包括利益累計額合計	△1, 040, 365	338, 010
少数株主持分	_	_
純資産合計	24, 889, 064	26, 649, 505
負債純資産合計	32, 777, 391	34, 543, 088

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 四半期連結損益計算書 第2四半期連結累計期間

		(十匹・111)
	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年12月1日 至 平成24年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年12月1日 至 平成25年5月31日)
売上高	15, 910, 393	15, 510, 686
売上原価	11, 822, 629	11, 558, 082
売上総利益	4, 087, 764	3, 952, 603
販売費及び一般管理費	3, 295, 300	3, 352, 641
営業利益	792, 463	599, 962
営業外収益		
受取利息	11, 172	14, 400
受取配当金	19, 772	21, 347
不動産賃貸料	31, 576	44, 569
為替差益	2, 575	241, 202
その他	26, 568	31, 211
営業外収益合計	91, 664	352, 731
営業外費用		
支払利息	1, 968	2, 202
売上割引	50, 797	49, 600
持分法による投資損失	28, 314	37, 357
その他	22, 115	32, 484
営業外費用合計	103, 196	121, 644
経常利益	780, 931	831, 049
特別利益		
固定資産売却益	3, 367	1,011
負ののれん発生益	21, 233	
特別利益合計	24, 600	1,011
特別損失		
固定資産除却損	7, 020	4,031
固定資産売却損	1, 212	<u> </u>
特別損失合計	8, 232	4, 031
税金等調整前四半期純利益	797, 300	828, 028
法人税、住民税及び事業税	346, 993	315, 391
法人税等調整額	△12, 366	8, 087
法人税等合計	334, 626	323, 478
少数株主損益調整前四半期純利益	462, 673	504, 550
少数株主利益	2,632	<u> </u>
四半期純利益	460, 040	504, 550
□ 1 \\ \alpha \		

四半期連結包括利益計算書 第2四半期連結累計期間

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年12月1日 至 平成24年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年12月1日 至 平成25年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	462, 673	504, 550
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	53, 928	634, 570
繰延ヘッジ損益	_	$\triangle 1,932$
土地再評価差額金	125, 668	_
為替換算調整勘定	231, 095	745, 737
その他の包括利益合計	410, 691	1, 378, 375
四半期包括利益	873, 365	1, 882, 925
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	870, 725	1, 882, 925
少数株主に係る四半期包括利益	2, 639	_

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年12月1日 至 平成24年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年12月1日 至 平成25年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	797, 300	828, 028
減価償却費	144, 299	168, 428
賞与引当金の増減額(△は減少)	\triangle 27, 275	\triangle 19, 715
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△3, 579	△15, 530
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△15, 220	11, 100
貸倒引当金の増減額(△は減少)	$\triangle 8,465$	△36, 018
受取利息及び受取配当金	△30, 944	△35, 747
支払利息	1, 968	2, 202
負ののれん発生益	△21, 233	_
持分法による投資損益(△は益)	28, 314	37, 357
固定資産売却損益(△は益)	$\triangle 2, 155$	$\triangle 1,011$
固定資産除却損	7, 020	4, 031
売上債権の増減額(△は増加)	390, 393	523, 818
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△158, 909	172, 651
仕入債務の増減額(△は減少)	$\triangle 21, 201$	△251, 669
その他	△328, 966	$\triangle 629,697$
小計	751, 344	758, 229
利息及び配当金の受取額	30, 353	36, 579
利息の支払額	△1, 969	$\triangle 5, 165$
法人税等の支払額	△250, 464	△361, 271
その他	21, 488	1,729
営業活動によるキャッシュ・フロー	550, 751	430, 101
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	_	510, 982
投資有価証券の取得による支出	△8, 613	△8, 718
関係会社株式の取得による支出	△19, 200	_
有形固定資産の取得による支出	△104, 209	△311, 134
有形固定資産の売却による収入	5, 323	1,664
無形固定資産の取得による支出	△1, 320	$\triangle 2,314$
関係会社貸付けによる支出	△300, 000	△30,000
貸付金の回収による収入	32, 916	24, 844
その他	△853	△184
投資活動によるキャッシュ・フロー	△395, 956	185, 139
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	$\triangle 21,094$	$\triangle 40,477$
自己株式の売却による収入	<u> </u>	1, 260
自己株式の取得による支出	△708	△614
配当金の支払額	\triangle 116, 456	△123, 130
財務活動によるキャッシュ・フロー	△138, 259	△162, 961

			(十四・111)
•		前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年12月1日 至 平成24年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年12月1日 至 平成25年5月31日)
	現金及び現金同等物に係る換算差額	88, 565	306, 691
	現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	105, 101	758, 971
	現金及び現金同等物の期首残高	5, 067, 524	5, 771, 740
	現金及び現金同等物の四半期末残高	5, 172, 626	6, 530, 711

(4)継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年12月1日 至 平成25年5月31日) 該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

- I 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年12月1日 至 平成24年5月31日)
- 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 財務諸表
	日本	アジア	欧米	計	(注)1	計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	12, 954, 444	2, 101, 301	854, 647	15, 910, 393	_	15, 910, 393
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1, 088, 703	658, 416	3, 398	1, 750, 518	$\triangle 1,750,518$	_
計	14, 043, 147	2, 759, 718	858, 046	17, 660, 912	$\triangle 1,750,518$	15, 910, 393
セグメント利益	731, 306	167, 459	25, 091	923, 856	△131, 393	792, 463

- (注) 1 セグメント利益の調整額 \triangle 131,393千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用 \triangle 147,532千円、その他16,139千円が含まれております。
 - 2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
- Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年12月1日 至 平成25年5月31日)
- 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 財務諸表
	日本	アジア	欧米	計	(注)1	計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	12, 405, 234	2, 261, 600	843, 850	15, 510, 686		15, 510, 686
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1, 046, 044	800, 342	3, 448	1, 849, 835	△1, 849, 835	_
計	13, 451, 278	3, 061, 943	847, 299	17, 360, 521	△1, 849, 835	15, 510, 686
セグメント利益又は損失(△)	689, 441	54, 359	△9, 497	734, 304	△134, 341	599, 962

- (注) 1 セグメント利益の調整額 \triangle 134,341千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用 \triangle 145,147千円、その他10,805千円が含まれております。
 - 2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年12月1日 至 平成25年5月31日) 該当事項はありません。